

水稻は種時処理専用殺虫殺菌剤

ファーストオリゼ[®] プリンス[®] 10 粒剤

フィプロニル（PRTR・1種）…………… 1.0%
 プロベナゾール…………… 20.0%
 鉱物質微粉等…………… 79.0%

農林水産省登録 第22549号

毒性 普通物 有効年限 3年 包装 3kg × 8袋、10kg × 1袋

(地域限定)

●特長

1. 「は種時」処理により水稻の主要病害虫であるいもち病、イネミズゾウムシ、ウンカ類、ニカメイチュウ、コブノメイガ等を同時に防除できます。
2. 「は種時」処理で長期間にわたって高い効果を示すので、省力的、経済的です。

●適用病害虫および使用方法

| 作物名 | 適用病害虫名 | 使用量 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------|---------|--------------------|
| 稲 (箱育苗) | いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 内穎褐変病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) イネドロオウムシ イネミズゾウムシ ウンカ類 ニカメイチュウ コブノメイガ イネツトムシ イネクロカメムシ | 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g | は種時 (覆土前) | 1回 | 育苗箱の床土に 均一に散布する |
| フィプロニルを含む農薬の 総使用回数 | | | プロベナゾールを含む農薬の 総使用回数 | | |
| 1回 | | | 2回以内 (移植時までの処理は1回以内) | | |

(平成28年7月6日現在の登録内容)

●効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 本剤処理後の低温で生育抑制を生じるおそれがあるので温度管理に注意し、適切な育苗につとめる。
- 本剤の処理により、軽度の初期生育遅延や葉の黄化を認めることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持する。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後に田面が露出したりしないよう水管理に注意する。
- 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合には使用をさける。
- 移植後、低温が続き、苗の活着遅延が予測される場合は使用をさける。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。